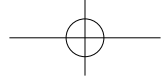


4

基本目標

“人が住みたくなるまちをつくる”

基本目標 4 人が住みたくなるまちをつくる



1 次世代につなぐ環境の保全と循環型社会の形成

現状

- 東日本大震災によって環境汚染など環境分野においても様々な影響が出ていますが、今以上に環境問題の意識を高め、環境施策を推進していく上で、本市の将来を担う子どもたちへの指導と教育は極めて重要となっています。
- 本市では大気汚染、土壌汚染、水質汚染などを定期的に調査しており、それぞれ環境基準をおおよそ満たしている状況ですが、光化学オキシダント濃度や地下水の水質、自動車騒音などにおいて、一部、環境基準を超えています。
- 福島第1原子力発電所の事故に伴う放射性物質の拡散により、本市においても風評被害を含め大きな被害が出ており、さらに将来の健康への影響が懸念されるなど、多くの問題に直面しています。

課題

- 地球温暖化対策としての二酸化炭素の削減、電力需給の問題など、省エネルギー意識の高揚とその取組が継続的かつ計画的に行われる必要があります。
- クリーンエネルギーについては、市民のニーズが高まっていますが、導入コストが高く、一部の市民しか利用できていない状況にあり、導入コストの低下が求められます。
- 大気汚染、土壌汚染、水質汚染、騒音、振動、悪臭などの公害については、未然防止や廃棄物の適正処理を推進するため、工場や事業所の監視、指導体制の強化が必要です。

基本方針

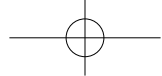
- 第3次環境基本計画に基づき行政と市民などが連携し、環境問題への取組を積極的に推進します。
- もったいない運動を推進することにより、市民のライフスタイルの転換を図ります。また、環境学習リーダーの活用を図り、すべての世代を対象に環境教育を推進します。
- 地球温暖化対策地域推進計画に基づき、温室効果ガスの排出抑制に努めます。
- 環境保全対策として、土採取事業規制条例の制定、環境調査の実施及び環境パトロールの対象範囲の拡大により生活環境の保全及び災害の発生を予防します。
- 放射能汚染対策については、正確な情報の把握と提供に努め、全庁的な体制により適切な対策を検討・実施します。



きれいなまちづくり推進員の活動

用語解説

・ 温室効果ガス：温室効果ガスは、本来、宇宙空間に逃げる太陽の熱を地表面に戻すことから、地球温暖化の原因といわれており、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などが代表的な物質として挙げられる。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 環境問題の意識の高揚

① 環境基本計画の推進

◎ 401 ①-1

第3次環境基本計画の推進 **New!**

- ・計画書の発行と配布
- ・環境審議会などの開催

①-2

地域別環境配慮行動計画の推進 **New!**

- ・環境美化団体への支援

② きれいなまちづくりの推進

◎ 402 ②-1

きれいなまちづくり推進員の活動の充実 **絆**

- ・きれいなまちづくり推進員協議会との協働

②-2

環境美化運動の推進

- ・環境美化団体などの活動支援

②-3

不法投棄物の撤去

- ・クリーン鹿沼事業の実施
- ・ミニクリーン鹿沼事業の実施

③ 3Rの推進

③-1

リサイクルの推進

- ・リサイクルショップの運営支援
- ・資源ごみ回収団体への支援

◎ 403 ③-2

もったいない運動の推進

- ・エコライフ・フェア、環境講演会の開催
- ・市民運動の支援

④ 環境教育の推進

◎ 404 ④-1

環境教育の推進とリーダーの養成

- ・環境学習リーダーの育成と支援

④-2

環境学習資料などの作成と活用

- ・環境学習副読本の作成と配布

④-3

環境学習出前講座の実施

- ・こども環境学習会などの出前講座の実施

用語解説

- ・3R（スリーアール）：リデュース（ごみを減らすこと）、リユース（使えるものは繰り返し使うこと）、リサイクル（ごみを資源として再び利用すること）の頭文字のRをとって3Rと総称する。



(2) 資源とエネルギーの活用

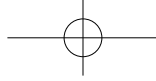
①地球温暖化対策	◎ 405 ①-1	地球温暖化対策地域推進計画の推進 New! ・地球温暖化対策地域推進計画の実施状況の公表
②省エネルギーとクリーンエネルギーの活用	②-1	省エネルギー意識の高揚 ・省エネルギー意識の啓発
	②-2	クリーンエネルギーの活用促進 ・新エネルギー設備導入費補助金の交付 ・クリーンエネルギーの普及啓発

(3) 環境保全対策

①環境保全対策の推進	①-1	環境調査の実施 ・一般環境調査の実施 ・特定事業所排水調査の実施
	①-2	環境パトロールの実施 ・土採取、土砂の埋立て、不法投棄、違法焼却などの監視と指導
	①-3	公害防止対策の実施 ・家庭用浄水器設置費補助 ・工場などの水質汚染などの防止の指導・監視
	①-4	土採取事業規制条例の制定と運用 New! ・土の採取事業を規制する条例、規則などの運用
②放射能汚染対策	②-1	放射能汚染対策 New! ・放射能に関する情報の収集 ・放射能汚染の適切かつ有効な対策の検討・実施

用語解説

・クリーンエネルギー：環境への負荷を、できるだけ低減するための新たなエネルギー源をクリーンエネルギーと称している。太陽熱利用、太陽光発電、風力発電などがある。



施策指標

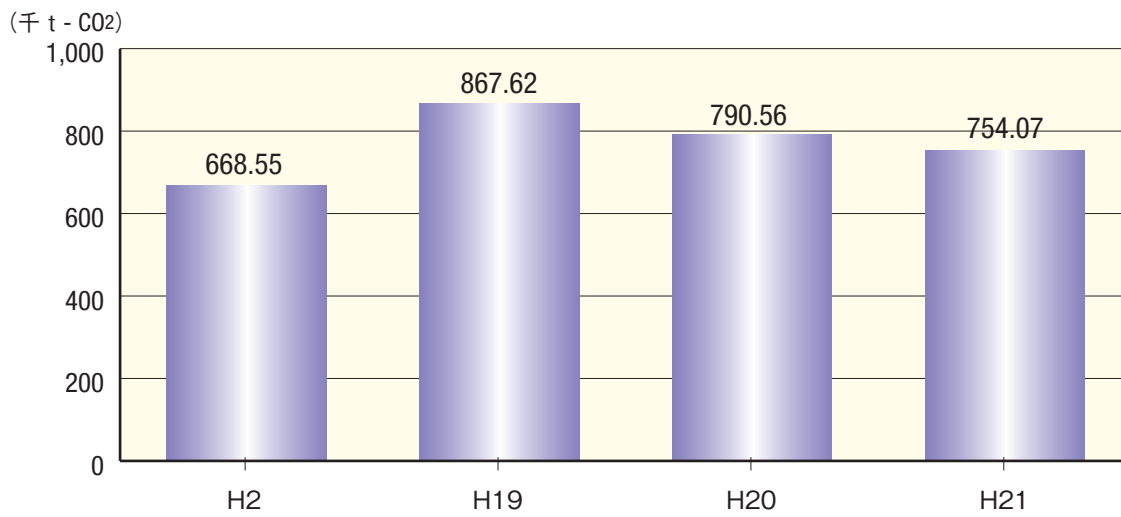
指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	(H2) 668,550t - CO ₂	665,000t - CO ₂	-
太陽光発電設備の設置補助件数	574 基	2,000 基	-
燃やすごみ総排出量の削減	24,166t	22,958t	-

基本計画

関連する計画

- ・ 第3次鹿沼市環境基本計画
- ・ 地球温暖化対策地域推進計画
- ・ 鹿沼市地域新エネルギービジョン
- ・ 鹿沼市地域省エネルギービジョン

◇温室効果ガス排出量の現状(鹿沼市の二酸化炭素排出量の推移)



基本目標4
人が住みたくなくなるまちをつくる



2 安全で快適な生活環境の構築

現状

- 安全で快適な暮らしを実現し、住みたくなるまちをつくるために、居住環境の整備が求められています。
- 近年、全国的に集中豪雨が頻繁に発生し、本市においても市道や住宅の冠水などにより市民に大きな被害を与えています。
- 本市の水道や生活排水処理施設（公共下水道、農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽など）の普及率は全国や県内平均と比較し若干低くなっています。
- 東日本大震災の教訓から建築物の耐震化が重要視されていますが、民間建築物は、建替え時期が来ていても、改修費の負担や所有者の高齢化などの理由から、耐震改修工事の実施決断が難しく耐震改修が進んでいない状況です。

課題

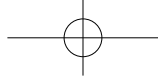
- 安全で快適な生活を維持するため、インフラの継続的な補修は市民生活にとって大変重要なものであり、今後も維持管理体制の確立に努め、緊急時にも的確な対応ができるようにしていく必要があります。
- 市内の大雨時冠水危険箇所の維持管理、冠水対策と雨水対策を計画的に実施することが急務となっています。
- 水道未普及地域を解消し、全市域給水化を実現するため、水源の確保や適正な給水手法を選択し、水道整備を進める必要があります。
- ごみ処理施設の長寿命化及びし尿処理施設の効率的な処理対策が必要です。

基本方針

- 土地区画整理事業により道路や公園などの公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図り、健全な市街地を形成します。
- 道路・河川愛護作業などのボランティア活動による市民の自主的な環境保全活動を助成するとともに、地域における住民との協働による道路環境美化などを促進します。
- 浸水などによる災害から市民を守るため、雨水幹線と大雨時冠水危険箇所の整備を計画的に進めます。
- ごみ焼却施設の長寿命化のための基幹的設備改良事業と、し尿や浄化槽汚泥の効率的な処理を行うため、汚水処理施設共同整備事業（M I C S事業）による施設整備を行います。
- 市民からの多様な居住ニーズに応じた情報を提供するとともに、鹿沼市建築物耐震改修促進計画により耐震改修を促進し、建築物の安全性の確保と市民の住まいづくりを支援します。

用語解説

- ・M I C S事業：し尿汚泥や浄化槽汚泥も下水処理場で一括して共同処理する事業。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 魅力ある都市づくり

① 魅力ある景観の形成

①-1

景観計画の策定 **New!**

・美しい景観資源を次世代に引き継ぐために景観計画を策定

② 花と緑豊かな都市づくり

①-2

花と緑のまちづくり基本計画の策定 **New!**

・緑豊かな都市づくりのために花と緑のまちづくり基本計画を策定

(2) 居住基盤の整備

① 市街地の整備

①-1

貝島西土地地区画整理事業

・貝島町・下田町1丁目周辺地域に良好な居住環境を形成

◎
406 ①-2

新鹿沼駅西土地地区画整理事業

・東武新鹿沼駅西口の駅前広場と併せた駅周辺機能の充実と住居系市街地を整備

①-3

JR 鹿沼駅西土地地区画整理事業

・JR 鹿沼駅西地区の公共施設の整備改善と宅地の利用増進

② 庭園のまちの推進

②-1

庭園のまちの推進 **絆**

・フラワーロード・オープンガーデンの実施

用語解説

・オープンガーデン：個人の庭や店先のガーデンスペースなどを一般公開すること。



(3) 公園緑地等の整備

①公園や広場の整備	①-1	市街地の身近な公園広場の整備 ・新鹿沼駅西土地区画整理事業地内公園の整備
	◎ 407 ①-2	街区公園の整備 ・東町街区公園の整備 New! ・幸町街区公園の整備 New!
②公園や広場の維持管理	②-1	公園・緑地の維持管理 ・公園・緑地の維持管理の実施
	②-2	公園施設長寿命化計画の策定 New! ・公園施設長寿命化計画の策定
③霊園の整備	◎ 408 ③-1	見笹霊園の整備 ・見笹霊園の拡張工事の実施

(4) 道路・橋梁の維持管理

①道路の安全確保	◎ 409 ①-1	道路環境の維持管理（舗装改修） ・安全で快適な道路環境維持のための維持管理 ・幹線道路の計画的な舗装改修の実施
	①-2	市民との協働による維持管理 絆 ・道路愛護活動の支援
②橋梁の維持管理	◎ 410 ②-1	橋梁の長寿命化対策 New! ・橋梁長寿命化計画に基づく維持補修
③交通安全施設の整備・維持	③-1	交通安全施設の整備・維持 ・危険箇所交通安全施設を整備 ・既設の交通安全施設の維持管理

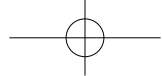


(5) 治水・雨水対策

①雨水排水対策	◎ 411	①-1	<p>市道冠水危険箇所の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道 0017 号線（東北道アンダー）冠水対策事業の実施 市道 7038 号線（鹿沼工業団地内）冠水対策事業の実施 New!
	◎ 412	①-2	<p>雨水対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 千渡第一幹線（古峯原宮通り）、千渡雨水バイパス、千渡調整池の整備
		①-3	<p>雨水貯留槽・雨水浸透柵設置推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水貯留槽・雨水浸透柵の設置促進
②河川（準用・普通河川）の維持管理		②-1	<p>河川（準用・普通河川）の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 準用河川の瀬戸川、西武子川の維持管理 河川愛護活動の支援
③治水対策		③-1	<p>大芦川の河川環境整備などの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大芦川の河川改修と地域整備事業の円滑な推進
④水源地域・導水路地域対策		④-1	<p>水源地域・導水路地域の住環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源地域の下水道・道路整備
		④-2	<p>水源地域活性化の拠点施設などの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 国のダム事業の検証結果に応じた、（仮称）ハーベストセンター、水源の森の整備
⑤防災体制の充実		⑤-1	<p>洪水・土砂災害危険箇所の情報提供（再掲：P78）</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水による浸水想定区域や土砂災害警戒区域などを表示したハザードマップ、防災マップの見直しを実施

用語解説

・ハザードマップ：自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。



(6) 水道の整備

①安全な水道の普及促進

◎ 413 ①-1

上水道第5次拡張事業

・上水道の水源を確保し、拡張区域へ配水管整備

①-2

簡易水道の整備

・西部地区簡易水道事業の推進

①-3

水道未普及地域の解消

・地域にあった整備手法による整備促進

①-4

クリプトスポリジウムなどの病原性原虫対策

・水質検査の強化
・高度浄水処理設備（紫外線処理）の整備推進

②安定供給の確保

②-1

漏水防止対策

・漏水箇所の早期発見と迅速な対応のための調査の実施
・老朽管の更新

◎ 414 ②-2

水道施設の更新と充実

・第2浄水場の改修工事の実施
・第1浄水場（中央監視管理棟）改修工事の実施

③経営安定化の推進

③-1

経営安定化の推進

・経営基盤強化の推進
・上水道と簡易水道事業の統合検討

(7) 下水道（生活排水処理施設）の整備

①下水道の普及

◎ 415 ①-1

公共下水道（污水）の整備

・北犬飼、押原の各分区の污水管整備の実施

①-2

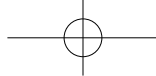
特定環境保全公共下水道の整備

・西沢地区の污水管整備工事の実施

用語解説

・上水道第5次拡張事業：慢性的な冬季の渇水状況の解消と水道未普及地域の解消を目的に平成8年に上水道第5次拡張事業の認可を受けたが、平成19年度に見直しを行い、平成20年4月から、上水道第5次拡張事業第1回変更に取り組んでいる。

・クリプトスポリジウム：孢子虫類に属し、腸管系に寄生する原虫である。環境中では「オーシスト」と呼ばれ人間の他動物に経口的に摂取されると増殖し、ふん便とともに体外に排出され感染源となる。感染すると腹痛を伴う下痢が続き、抵抗力が低下している人は、重篤になる。本市では検出されていないが、国の対策方針に基づき対応策を進めている。



	①-3	浄化槽設置整備推進 ・ 合併処理浄化槽設置者に対する経費の一部補助
◎ 416	①-4	黒川終末処理場の整備 ・ 水処理6系増設工事の実施 ・ 3号汚泥脱水機詳細設計の実施
◎ 417	①-5	下水道処理施設の整備 ・ 処理場施設の長寿命化計画の策定 ・ 汚泥棟の耐震化調査の実施
	①-6	下水道管渠の長寿命化 <i>New!</i> ・ 下水道管渠の長寿命化計画策定 ・ 老朽管渠の改修
	①-7	水洗化の普及促進 ・ 未水洗化世帯に対する戸別訪問による啓発活動の実施
②公共用水域の水質保全	②-1	単独処理浄化槽撤去費助成制度 <i>New!</i> ・ 単独処理浄化槽撤去費の補助
③下水汚泥の資源化	③-1	流域下水汚泥処理事業の推進 ・ 第2期流域下水汚泥処理事業計画の策定
	③-2	放射能汚染対策（再掲：P144） <i>New!</i> ・ 放射性物質を含む下水汚泥の適正処理の推進

(8) ごみ・し尿処理対策

①ごみ等の収集・処理	①-1	ごみの収集処理 ・ ごみの収集業務などの民間委託を含めた体制の整備 ・ 市民へのごみ分別の周知
	◎ 418	ごみ処理施設の長寿命化 <i>New!</i> ・ ごみ焼却処理施設の長寿命化のための基幹的設備改良事業の実施
②し尿等の収集・処理	②-1	し尿等の収集処理 ・ し尿等収集業務の民間委託を含めた体制の整備
	◎ 419	汚水処理施設共同処理 <i>New!</i> ・ し尿・浄化槽汚泥の下水処理場での共同処理の実施（MICS事業）



(9) 住宅環境の整備

①安全な建物環境づくり

①-1

建築物耐震改修の促進

- ・防災上必要な施設や特定建築物の耐震化を促進
- ・簡易診断サポート、耐震診断補助、耐震改修補助の実施

②住宅総合対策

◎
420
②-1

住宅総合相談

- ・既存住宅のリフォームや耐震相談など、住宅全般に関する総合相談窓口の設置
- ・永住希望者に対し、その住宅取得に対する支援

③市営住宅の維持管理

③-1

市営住宅の長寿命化対策

- ・陸町市営住宅と下町市営住宅の外壁屋上防水工事の実施

④地場産材の需要拡大

④-1

鹿沼産材の利用促進（再掲：P124）

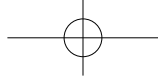
- ・鹿沼産材による木造住宅建築の推進
- ・間伐材の利用促進
- ・木質バイオマスの利用促進



整備中の東武新鹿沼駅周辺

用語解説

- ・木質バイオマス：再生可能な生物由来の有機性資源のうち、枝、葉などの林地残材や、おが屑、樹皮などの製材残材などの木材資源。



施策指標

指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
雨水排水管渠面積	512 ha	587 ha	-
耐震化率 (一般住宅)	79%	90%	-
水道普及人口割合 【上水、簡易、専用水道の給水人口／本市の人口】	87.9%	93.4%	-

基本計画

関連する計画

- ・鹿沼市都市計画マスタープラン
- ・橋梁長寿命化修繕計画
- ・鹿沼市住宅マスタープラン
- ・鹿沼市水道事業変更認可申請書（第5次拡張変更）事業計画書
- ・鹿沼市西部地区簡易水道事業変更認可申請書事業変更計画書
- ・簡易水道事業統合計画書
- ・鹿沼市建築物耐震改修促進計画
- ・鹿沼市市営住宅等長寿命化計画
- ・循環型社会形成推進地域計画
- ・第2次鹿沼市「水のふるさと」再生計画

基本目標4
人が住みたくなるまちをつくる

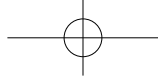
◇土地区画整理事業の施行状況

完了地区名	面積	事業主体
戦災復興(戸張町)	6.8 ha	県
府所	2.8 ha	市
日吉台	6.9 ha	個人
木工団地第一	17.8 ha	個人
木工団地第二	18.3 ha	個人
晃望台	8.9 ha	個人
坂田山	38.6 ha	組合
縦山	4.7 ha	組合
西茂呂	135.1ha	市
成睦	2.6 ha	市
下横町周辺	7.1 ha	市
小 計	249.6 ha	
実施地区名	面積	事業主体
貝島西	29.6 ha	市
新鹿沼駅西	28.9ha	市
J R 鹿沼駅西	1.1ha	市
小 計	59.6ha	
合 計	309.2ha	

◇水道普及率の推移

(%)

年度 区分	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
全国	97.2	97.3	97.4	97.5	97.5
栃木県	94.2	94.8	95.1	95.7	95.9
鹿沼市	84.5	85.6	86.0	86.8	87.4



◇公共下水道普及率の推移

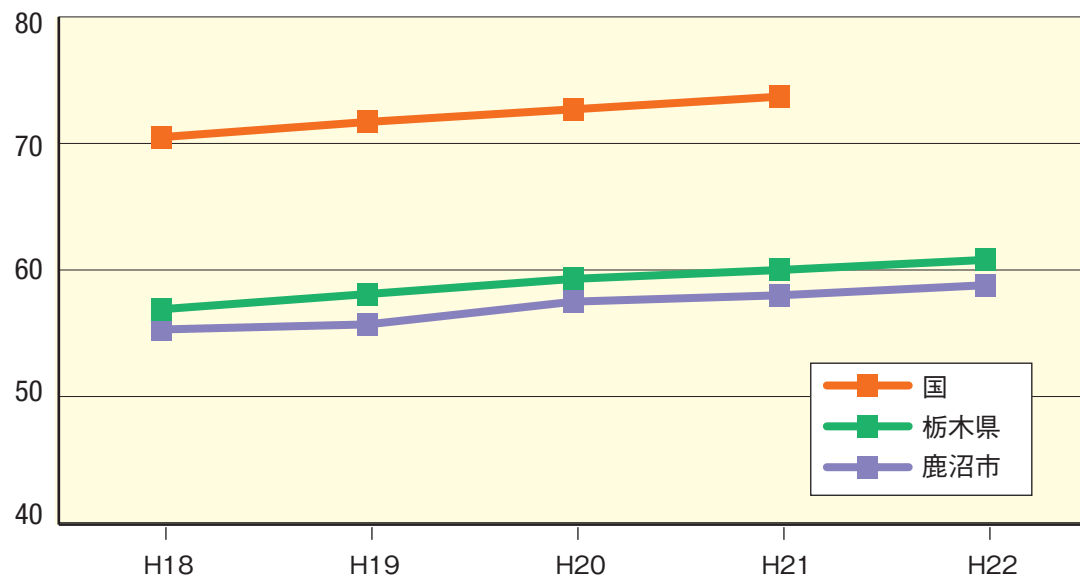
(%)

	H18	H19	H20	H21	H22
国	70.5	71.7	72.7	73.7	-
栃木県	56.9	58.1	59.3	60.0	60.8
鹿沼市	55.3	55.7	57.5	58.0	58.8

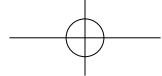
基本計画

◇公共下水道普及率の推移

(%)



基本目標4 人が住みたくなるまちをつくる



3 総合的な交通ネットワークの形成

現状

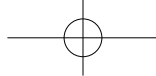
- 人口減少・超高齢社会への対応や環境負荷の軽減などの現在の都市を取り巻く状況下では、市民生活を支える都市交通の役割が非常に重要となっています。
- 本市には、国道3路線、県道27路線があり都市交通の骨格を担っています。都市計画道路は、28路線、約81kmありますが、整備済延長は約48kmで、全体の6割に満たない状況です。
- 市街地から山間部までの奥深い沢沿いに集落が点在している地理的な特徴により、公共交通の需要範囲は広く、一方で日常交通手段としては、自家用車の割合が高く、バス利用者は減少傾向にあります。

課題

- 歩行者や自転車が安全に通行できる空間の確保、高齢者や障害者にとっても利用しやすい公共交通、地域の連携や活力の創出に不可欠な道路の整備など、総合的な都市交通体系の確立が求められます。
- 都市間交流の強化や地域経済発展のため、幹線道路の整備促進が必要です。
- 高齢化の進む中、今後、市民の移動手段として、持続可能な公共交通システムの構築が求められています。

基本方針

- 国・県道の整備促進を働きかけ、広域連携軸の形成を図ります。
- 交通結節点として、JR鹿沼駅周辺の整備計画を作成し、駅東側の整備に努めます。
- 都市計画道路の整備を進め、都市部における道路ネットワークを形成します。
- 生活に密着した市道の拡幅改良や、砂利道の舗装化を進めます。
- 利用者のニーズを把握し、地域の実情にあった効率的なバスの運行形態の構築により運行コストの低減を図るとともに、利用者数の増を目指します。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 総合的交通体系の確立

① 主要幹線網の整備

①-1

広域幹線道路（国・県道）の整備

- ・ 県都宇都宮との連携を強化する県道の整備促進
- ・ 西北部地域の幹線道路の整備促進

①-2

JR 鹿沼駅東側の整備

- ・ JR 鹿沼駅東側の駅前広場を含む都市基盤の整備計画を策定し事業に着手

(2) 骨格となる道路の整備

① 都市計画道路の整備

◎
421 ①-1

都市計画道路 3・4・2 南大通りの整備

- ・ 主要地方道鹿沼・日光線から市道 0002 号線までの区間（日吉工区）の整備

①-2

都市計画道路 3・4・211 鹿沼駅東通りの整備

- ・ 主要地方道宇都宮・鹿沼線から市道 5009 号線までの区間の整備

(3) 安全・安心な道路づくり

① 広域・一般市道の整備

①-1

市道の整備

- ・ 市道 0005 号線ほかの 1・2 級の広域市道や市道 1007 号線ほかの生活に密着した一般市道（3 級以下）の整備を計画的に推進

② 通学路の整備

②-1

歩道・交差点の改良

- ・ 市道 5047 号線（辰巳通り）の整備

③ 林道の整備

③-1

広域・集落間林道の整備（再掲：P123）

- ・ 杓子沢線林道工事の実施



(4) 地域公共交通システムの充実

① 地域公共交通システムの充実

◎ 422 ①-1

生活交通の確保・維持改善

- ・リーバス、デマンド交通の運営管理
- ・民間路線バスの維持支援

①-2

公共交通利活用の促進

- ・バス利用促進に向けたソフト事業の実施

施策指標

指標名	現状値 (H22)	目標値 (H28)	備考
市道の改良延長	771 km	791 km	—
市道の舗装延長	1,046 km	1,070 km	—

関連する計画

- ・鹿沼市地域公共交通総合連携計画



デマンド交通

用語解説

- ・デマンド交通：電話予約により、利用者が要望する乗降場所及び時刻に応じ運行するバス。
- ・リーバス：市内を走る生活バスの愛称。葉っぱの生い茂る緑豊かなまち「鹿沼」を走るバスをイメージした造語「リーフ・タウン・バス」を略した名称。



◇リーバス利用者の推移

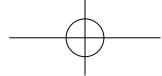
H18	H19	H20	H21	H22
359,934人	369,627人	364,844人	325,880人 内デマンド 1,174人	296,118人 内デマンド 14,923人

◇運行補助の推移(補助年度:10月~9月)

H18	H19	H20	H21	H22
147,645千円	156,249千円	164,520千円	165,554千円	186,744千円



主要地方道宇都宮鹿沼線



4 自然との共生による快適空間の創造

現状

- 本市の多くの部分を占める山間地域は、土砂災害や洪水などの自然災害の防止、貴重な自然環境の保全、癒しの空間の形成、さらには都市部への食料の供給など、多面的な機能を担う重要な地域です。
- 中山間地域においては、人口の減少に伴い、集落機能が低下し、コミュニティの維持が困難な状況が危惧されている一方、里山のきれいな空気や水、大自然を求める都市住民が増加しています。
- 市民アンケートによる「現状の生活環境における満足度」では、「自然環境の豊かさ」、「河川や溪流」の満足度が高い結果となっています。

課題

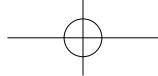
- 農林業従事者の高齢化や後継者不足により農林業の衰退が懸念されており、農山村地域の活性化を図るための対策が求められています。
- 十分な管理がされていないことにより機能が低下している森林の整備対策が必要となっています。
- イノシシやシカなどによる農林産物被害が増加し、野生鳥獣被害対策が急務となっています。
- 本市の恵まれた自然環境などの地域資源や地理的条件を活かし、都市住民などとの交流を促進し、地域の活性化を推進する必要があります。

基本方針

- 地域団体や担い手農家などが主体となって進める耕作放棄地の解消活動を積極的に支援します。
- 意欲ある農林業者の事業継続と後継者の育成を支援します。
- 効率的な森林施業と森林地域の活性化のための林道や作業道の整備を促進するとともに、保安林の拡大や計画的な間伐を推進します。
- グリーンツーリズムを推進するため、本市の恵まれた大自然の魅力を積極的にPRします。
- 多様な主体による里山林の整備などにより、野生鳥獣による農林業への被害対策を推進します。

用語解説

- ・担い手農家：農業経営への意欲や能力のある農業者のうち、農業経営基盤強化促進法に基づく経営改善計画の市町村認定を受けた認定農業者など。
- ・グリーンツーリズム：農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。
- ・里山林：人里近くに広がる森林。



主要施策

単位施策

主要事業と主な内容

◎…実施計画掲載事業

(1) 魅力ある中山間地域づくり

①中山間地域の計画的な振興

①-1

山村振興計画の策定

・ 振興山村における計画的な振興施策の展開

①-2

辺地に係る総合整備計画の策定

・ 辺地における公共的施設の計画的な整備

②中山間地域の住環境の整備

②-1

市道の整備（再掲：P157）

・ 市民生活に密着した生活道路などの計画的な整備

②-2

林内路網の整備（再掲：P123）

・ 林道・作業道の整備

②-3

水道未普及地域の解消（再掲：P150）

・ 中山間地域などの未普及地域解消の推進

②-4

簡易給水施設の整備

・ 地元主体による簡易給水施設の整備推進

②-5

消防団施設・車両と資機材の整備（再掲：P80）

・ 消防車両と各地区コミュニティ消防センターの更新・整備

②-6

地区コミュニティセンターの整備（再掲：P85）

・ 西大芦コミュニティセンターの整備検討

②-7

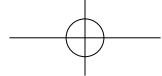
移動通信サービス普及支援（再掲：P177）

・ 携帯電話不感地区の解消推進

②-8

地上波デジタル放送難視聴対策（再掲：P177）

・ 地上波デジタル放送難視聴世帯の解消

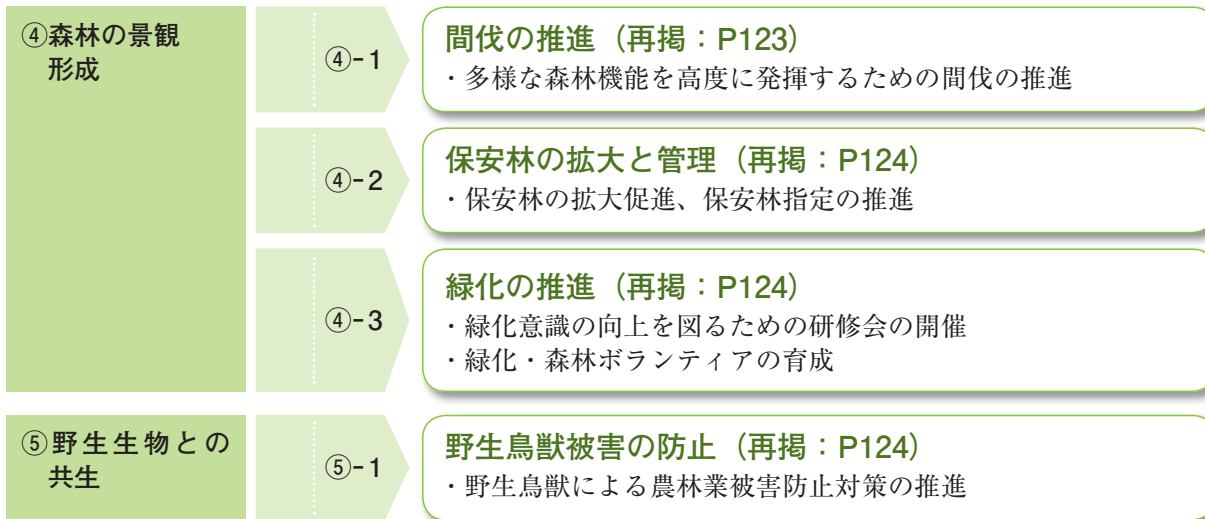


(2) 美しい自然の保全・活用

①土地利用の 総合調整	①-1	土地利用の総合調整 ・土地の大規模開発に対する適正な指導
	①-2	地籍調査推進体制の構築 ・地籍調査実施に向けた人員配置などの体制づくり
②グリーンツー リズムの推進	②-1	自然環境の魅力充実（再掲：P168） ・前日光県立自然公園の環境保全活動の促進 ・河川環境の美化と保全の促進 ・「川の駅」構想の検討 New!
	②-2	前日光県立自然公園の整備（再掲：P169） ・前日光県立自然公園の管理と整備
	②-3	農業体験事業などによる都市交流推進（再掲：P119） ・農業体験を通じた都市住民などとの交流促進 絆 ・集落と企業のマッチング
	②-4	森林活用促進施設の活用（再掲：P124） ・野鳥の森、自然体験交流センター、21世紀林業創造の森、 出合いの森などの利用促進 ・林業体験を通じた都市住民などとの交流促進
③農地の景観 形成	③-1	耕作放棄地対策の推進（再掲：P118） ・鹿沼市耕作放棄地対策協議会による総合的な対策の推進 ・農業分野におけるバイオエネルギーや太陽光発電などの新 たな活用策についての研究・実施 New! ・耕作放棄地を活用した新規就農者の支援 New!
	③-2	農村環境の整備促進（再掲：P119） ・地域住民の農村環境整備に対する支援 ・中山間集落とCSRを実践する企業とのマッチング 絆 New!

用語解説

- ・川の駅：川及び川沿いの施設であって、休憩、観光、環境、教育などの拠点施設として利用する、流域の情報を共有するためのネットワーク拠点。
- ・バイオエネルギー：植物起源の有機資源を利用するエネルギー。
- ・CSR：直訳では「企業の社会的責任」と訳される。企業は社会の中で事業活動を展開するが、その際、不当なやり方で利益を追求し、社会、すなわち、従業員や消費者、他の企業、行政機関、NPO、業界団体や自治会などの組織体などの人や組織体に迷惑をかけるようなことがあってはならないとされ、むしろ、社会の期待に応えなければならないといった責任を持っているという考え方。



施策指標

指標名	基準値 (H22)	目標値 (H28)	備考
簡易給水施設整備箇所数	15箇所	16箇所	-

関連する計画

- ・ 鹿沼市山村振興計画
- ・ 辺地に係る総合整備計画



中山間地域(中粕尾)

用語解説

- ・ 保安林：水源かん養や災害防止など公益的機能の発揮が特に必要なため、森林法に基づき国又は県が指定した森林。

